

自然共生社会の実現

化学物質削減活動

川崎重工は、「地球環境に調和した製品とものづくりで、環境負荷を下げ、生態系の保全に貢献」することを目指して化学物質削減などさまざまな活動に取り組んでいます。

化学物質の削減活動の対象として、主要VOC、ジクロロメタン、有害重金属について事業部門ごとに目標を設定し、削減に取り組んでいます。多くの事業部門で削減活動の対象となっている、主要VOC、ジクロロメタン、六価クロム、鉛における取り組みの状況は以下の通りです。適用可能な対策については、かなりの部分を実施済みですが、今後も、さらなる削減対策を進めていきます。

主要VOC

主要VOCについては、水性塗料などの低VOC塗料への転換や静電塗装による塗着効率の向上、洗浄溶剤の削減のために溶剤回収装置の導入などを推進しました。生産量の増大や顧客による塗料の指定など、削減が困難な要因もあり、効果的な削減対策が実現できず、排出量は2010年度よりも増加しました。今後も、水性塗料やハイソリッド塗料などの適用拡大などにより削減に取り組んでいきます。

ジクロロメタン

ジクロロメタンについては、塗装の剥離処理に使用しているものが多いが、生産量の増大により、排出量は2010年度よりも増加しました。今後、ジクロロメタンの回収効率の向上などで削減に取り組んでいきます。

六価クロム

六価クロムについては、特殊な表面処理に使用しているものが多く、六価クロムを使用しない技術の導入に取り組んでいますが、まだ時間が必要な状況です。取扱量は2010年度よりも減少しており、今後も、クロムフリー塗料など可能な施策から計画的に取り組んでいきます。

鉛

鉛については、塗料に含まれているものが多く、鉛フリー塗料への切り替えを中心に削減に取り組んでいます。取扱量は2010年度よりも減少しており、今後も、さらなる削減を目指して取り組んでいきます。

2010年度からの第7次計画においては、「2020年度までに管理対象の化学物質について、最少化（重金属は原則ゼロ化）を目指す」という「環境ビジョン2020」の考え方の下で、さらに削減活動を推進します。

削減対象化学物質の排出・取扱量 (t/年)

項目		2011年度の 排出量(取扱量)	2010年度比 増減
主要 VOC	トルエン	443	+38.0%
	キシレン	678	+7.1%
	エチルベンゼン	278	-14.7%
	合計	1,399	+9.3%
ジクロロメタン		59	+31.1%
有害 重金属	六価クロム	23	-14.8%
	鉛	1.4	-17.6%
	カドミウム	0.013	-51.9%

*1 主要VOCおよびジクロロメタンは排出量、有害重金属は取扱量を表示。

*2 カドミウムについては、取扱量が500kg未満であるため、PRTR法による集計には含まれていません。

PRTR法で定められた化学物質の排出・移動量のデータについては「全社環境負荷データ(2011年度)」(20ページ)をご参照ください。

生物多様性保全への取り組み

国の生物多様性国家戦略2010の短期目標「生物多様性の状況を分析・把握したうえで保全に向けた活動を拡大」を具現化する取り組みとして、生物多様性保全の観点からも各事業所において下記の活動を推進しています。

各事業所の立地などの特性に応じて、構内緑地の整備などの活動に取り組んでいます。

事業活動に伴う環境負荷低減に向けた取り組み

- ① 温室効果ガス削減対策の推進
- ② 産業廃棄物最終処分量の削減
- ③ 排水・化学物質の環境負荷低減

事業活動以外での取り組み

- ① 事業所周辺の清掃活動等の推進
- ② 事業場内・周辺環境の生物多様性の状況を分析・把握して構内緑化などの活動を推進
- ③ 企業の森づくり活動など地域と協働した活動による生物多様性保全の推進